

## 基本情報

需要家	日本総合リサイクル株式会社
事業の実施場所	富山県高岡市
施設の名称 (需要家の法人名+建物の名称)	日本総合リサイクル株式会社 本社工場
太陽光発電設備の導入方法	オンサイトPPAモデル
導入設備	太陽光発電設備：967.60kW (太陽光パネルの出力) 777.70kW (PCSの定格出力) 定置用蓄電池：407.34kWh (蓄電容量)
稼働開始時期	2026年2月から発電開始
総事業費 (税抜)	非公表
平均の年間CO <sub>2</sub> 削減率 (削減量)	35.60% (306.17t-CO <sub>2</sub> /年)

## 事業目的・概要等

鉄道車両の解体・リサイクルや金属のリサイクル等を行う当社の工場に、オンサイトPPA方式により太陽光発電設備と蓄電池を導入して電力コストの安定化とCO<sub>2</sub>排出量の削減を図るものである。

当社は、鉄道車両等の解体・リサイクル、金属のリサイクル、リサイクル関連機器の開発・仕入れ・販売を主要な事業としている。富山県高岡市にある本社工場では、先端に特殊なアームがついた「マルチ解体機」や「大型ギロチン剪断機」で鉄道車両等を解体する。

太陽光発電設備と併せて蓄電池と最適制御システムを導入することで、太陽光発電の自家消費量向上によるCO<sub>2</sub>削減効果の増大や、デマンドカットによる電力コストの低減を図ることとしている。

## 今後の再エネ導入に向けた取り組み

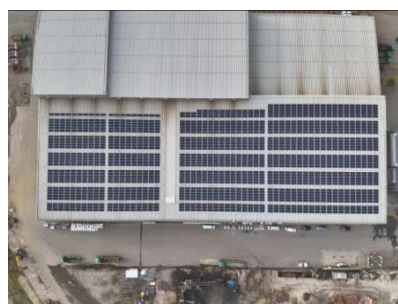
グループ会社である「三豊工業株式会社 追分工場」において、2025年2月より自己所有による太陽光発電設備を導入済みである。上記事業による蓄電池の効果検証を経て、三豊工業についてもピークカット効果を図ることが見込めるようであれば導入を検討することとしている。

また、その他のグループ各社においても、太陽光発電設備および蓄電池の設置が可能な工場等の施設について導入を検討することとしている。

## 導入施設の外観



## 主な導入設備



太陽電池モジュール



パワーコンディショナー



定置用蓄電池・トランス